

普及活動情勢報告（令和3年5月分）

高吾農業改良普及所

一番茶収穫最盛期。



仁淀川町では例年よりも10日程度早い4月8日から茶の収穫が始まっており、4月下旬の現在、最盛期を迎えています。

本年は気温の極端に低い日はなく、適度な降雨にも恵まれて茶芽の生育は良く、佐川町、越知町、仁淀川町、日高村の4町村の約100haの茶畑では、順調に収穫が進んでいます。

JA高知県の茶取引所において、流通関係者から「今年の茶は特に味が良い」という声も聞かれています。

普及所は、今後も台切りによる樹勢回復実証等を通じて茶の安定生産と品質向上を支援していきます。

集落営農組織「斗佐耕楽会」の総会が開催されました。



4月30日に集落営農組織「斗佐耕楽会」の令和2年度総会が開催されました。普及所はこの会に向けた準備で、将来ビジョン等の作成を支援しました。

総会では、令和2年度の事業報告・収支決算が承認され、令和3年度の事業計画では、経営面積の拡大が提案され、承認されました。

他の集落営農法人からの出席もあり、協力の呼びかけの発言もあり、今後の組織相互間の連携が期待されます。

普及所は、今後も集落営農組織の経営安定とステップアップを支援していきます。

高品質な甘長とうがらしを出荷しよう。



4月30日に、JA越知支所で土佐甘長とうがらしの目慣らし会を行い、生産者7人の出席がありました。

出荷規格の確認後、普及所から収穫初期の栽培管理について説明を行いました。農家からは「樹勢の強弱の見方や、適切なかん水量について」の質問があり、花の柱頭や開花位置を確認することで、樹勢を維持する管理についての理解が深まりました。

普及所は今後も、整枝やかん水の徹底について指導し、安定生産を目指し支援していきます。

仁淀川夏秋トマト生産部会の現地検討会と販売会議が開催されました。



5月10日に「ぴゅあトマト」を生産するJA高知県仁淀川夏秋トマト生産部会の現地検討会及び販売会議を開催しました。会には農家4戸とJA、普及所が参加しています。

現地検討会では「今後の水管理はこのままでいいか」、「肥料は増やした方が良いか」等の意見があり、普及所では生育診断や植物体内の硝酸態窒素量の測定を行い、栽培管理の助言を行いました。

また、販売会議では今年の予約相対取引の期間等について検討が行われ、現在の着果状況等を参考に今後の出荷見込みについて助言を行っています。

普及所では継続的に現地検討会や個別巡回指導を通じ安定生産に向けた支援を行っています。

オクラの生育状況を確認しました。



JAコスモス日高支所オクラ部会12戸、78aでトンネルオクラ栽培が、3月中旬は種より始まっています。

普及所では、病虫害対策として在来天敵の利用や生育調査を通じ生産者への指導を行っています。

農家からは「追肥を行うタイミングはいつがよいか」という意見がありオクラの開花状況や生育を見て助言指導を行いました。

普及所では、今後も天敵の発生調査や生育調査を定期的に実施し、適期防除につなげるよう支援していきます。